

エア用減圧弁 MSRシリーズ

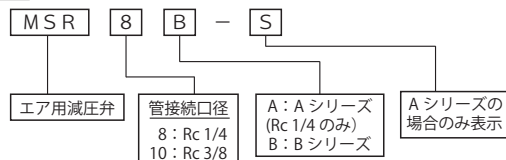
このたびは、エア用減圧弁（MSRシリーズ）をご採用くださいまして、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

●安全に使うための表示

使用、保守、点検の前に必ずこの取扱説明書を読み、次の意味をよくご理解の上、使用してください。

表 示	表示の意味
	危険 取扱いを誤った場合、使用者が死亡、重傷又は、健康上、重大な危害を被る可能性が極めて高いことを示します。
	警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡、重傷又は、健康上、重大な危害を被る可能性があることを示します。
	注意 取扱いを誤った場合、使用者が重傷を負うか、健康を害するか又は、物的損害が生じる可能性があることを示します。

●型 式



●仕 様

	MSR		
呼 称	8A-S	8B	10B
使用流体	空 気		
使用圧力範囲 (MPa)	0.05 ~ 1.0		
設定圧力範囲 (MPa)	0.05 ~ 0.85		
耐 圧 力 (MPa)	1.5		
使用温度範囲 (°C)	5 ~ 60		
管 接 続 口 径	Rc 1/4	Rc 3/8	
付 属 品	圧力計 1 個	ブラケット 1 個	
製 品 質 量 (g)	250	400	

●使用上の注意事項



警告

- ・使用圧力は、使用圧力範囲を守って使用してください。
- ・使用温度は、5 ~ 60 °C の範囲を守ってください。
- ・取付場所は、直射日光や有機溶剤の雰囲気での使用は避けてください。
- ・保守・点検する時は、機器と配管内の圧力を抜いてから行ってください。
- ・2 次側圧力の設定範囲は、1 次側の 85% 以下で行ってください。

●取 付



注意

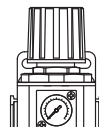
- ・取付姿勢に制限はありません。圧力計がよく見える姿勢としてください。
- ・取付方向は、ボディの矢印の方向に空気が流れるようにしてください。
- ・ハンドル操作及び、保守点検のため周囲に余裕空間を設けてください。

・8A-S



矢印

・8B・10B



矢印

●配 管



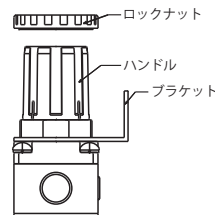
注意

- ・配管継手などは、配管する前にフラッシングをしてから使用してください。
- ・配管時には、ねじ部にシールテープ、もしくはシール材を塗ってください。
- ・配管、継手をねじ込む場合は、切粉やシール材が内部に混入しないようにしてください。また、締付トルクは、下記の表を参照してください。
- ・上流側にエアフィルタを設け、ゴミやドレンの混入を防止してください。

配管サイズ	締め付けトルク (N・m)
Rc 1/4	12 ~ 14
Rc 3/8	22 ~ 24

●ブラケット取付

- ・ロックナットを取り外し、ブラケットを入れて取付位置を合わせた後、ロックナットを締めて固定してください。



●圧力計取付



注意

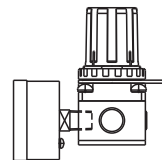
- ・8A-S
圧力計を取り付ける側の六角穴付プラグを外し、圧力計のねじ部にシールテープもしくは、シール材を塗布しねじ込んでください。
- ・8B・10B
圧力計の位置は、圧力計取付ビスを緩め、反対側のゲージプレートと交換することができます。

●圧力調整



注意

- ・圧力設定
ハンドル位置をロック状態からロック解除に戻してから、行ってください。
(ロック解除：ハンドルを引き上げる)
- ・二次側圧力を上げる
ロック解除したハンドルを、圧力計を見ながら右回転 (+ 方向) し、設定圧力近くまで回し、流量が落ち着いてから微調整を行ってください。設定圧力になれば、ハンドル位置をロック状態にしてください。
(ロック状態：ハンドルを押し下げる)



- ・二次側圧力を下げる
ロック解除したハンドルを、左回転 (- 方向) すれば圧力が下がります。圧力計を見ながら設定したい圧力付近までハンドルを左回転し、一旦、設定したい圧力より下げてから右回転して微調整してください。設定圧力になればハンドル位置をロック状態にしてください。

●保守点検



注意

- ・保守点検は、機器と配管内の圧力を抜いてから行ってください。
- ・定期的に圧力調整機能が働くことを確認してください。
- ・圧力計の指示圧力を確認してください。

●お願い

この取扱説明書をお読みになった後は、手近なところに保管してください。



株式会社 ミスミ 〒102-8583 東京都千代田区九段南 1-6-5
M モーション事業部 <http://jp.misumi-ec.com/mech/> 九段会館テラス